

令和4年6月21日

報告第10号

若桜鉄道株式会社の経営状況について

6月10日に株主総会が開催され、令和3年度の事業報告がございました。令和3年度の事業概要を申し上げますと、旅客人員は37万7千人強で、前年に比べて約1万2千人弱の増加となりました。

これは、鳥取市内から八頭高校へ通学する生徒の八頭高校前駅から郡家駅間の通学定期券の利用者が増加したことが主な要因であります。

旅客収入につきましては、4,135万円余りで、前年とほぼ横ばいとなっています。新型コロナウイルス感染症の流行により、イベントの開催や販促事業への参加が見合わせられ、また県外からの観光列車ツアーの中止や、年間を通じてSL運転体験やトロッコ列車の乗車などができなかったことが、要因として考えられます。

また、安全対策としましては、枕木交換、踏切保安設備の改良、用呂地内の落石防護柵の設置などの安全関連施設の更新や修繕を行うとともに、昭和号の重要部検査を受けております。

次に、収支の概要についてであります。令和3年度営業収益として運賃収入、JRに貸し出す車両使用料収入、若桜町及び八頭町からの受託費、売店売上などの営業外収益等を合計しますと、2億7,394万円余りの収入がありました。

人件費、業務費、運輸費、修繕費など、固定費の経費削減に努めてまいりましたが、燃油や光熱水費、資機材の高騰により支出合計額は、2億8,635万円余りであります。単年度の経常損益は、1,241万円余りの赤字となりましたが、国のコロナ対策による支援、若桜町、八頭町からの運行支援策等により最終的な決算では、347万円余りの赤字となりました。

以上で、令和3年度の若桜鉄道株式会社の経営状況の報告といたします。